

人間社会学域 人文学類  
【授与する学位】学士（文学）

大学（大学院）の目的
金沢大学は、教育、研究及び社会貢献に対する国民の要請にこたえるため、総合大学として教育研究活動等を行い、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

学類（研究科）の教育研究上の目的
人間社会学域は、人間及び人間社会に関する普遍的真理の探求とともに、激変する複雑な社会状況の下で、人間及び人間社会が直面する諸問題の解決に貢献寄与するための教育を行い、社会に貢献しうる自発的な課題探求能力や解決能力を持ち、かつ多文化共生時代にふさわしい理解力と判断力を持った個性的な人材を養成することを目的とする。 人文学類は、少人数による学生参加型の授業科目を学修の中心に置き、文献読解、実験、調査、フィールドワークなどを通して自発的に課題を発見し、その解決方法を身につけ、広範な人間の行動・思考・創造及びその蓄積としての思想・歴史・文化・言語等を深く理解した、総合的・学際的視野を持つ人材を養成することを目的とする。

ディプロマ・ポリシー（DP）	カリキュラム・ポリシー（CP）	アドミッション・ポリシー（AP）
<b>【卒業認定・学位授与に関する基本的考え方（前文）】</b>	<b>【教育課程編成に関する基本的考え方】</b>	<b>【入学者受入れに関する基本的考え方（前文）】</b>
KUGS（金沢大学<グローバル>スタンダード）をふまえ、人文学類では次に挙げるすぐれた能力と資質を以て新たな情報や価値を創造し社会に貢献できる学生に学士（文学）の学位を授与する。	学類では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、全学共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実験、実習を適切に組み合わせた授業科目を開講する。教育課程については、カリキュラム・ツリーやナンバリングを用いてその体系的な構成を明示する。	人文学類では、人間をその行動、思想、歴史、文化、言語、文学といった多彩な観点から考察し深く学ぶことを通じて、人間性と社会性に富む教養と課題発見能力、社会的応用性を備えた専門的知識、的確な自己表現の能力、そして多面的視野と柔軟なコミュニケーション能力を持った人材の育成を目指しています。
<b>【学生が身に付けるべき資質・能力】</b>	<b>【教育内容・教育方法（教育課程実施）に関する基本的考え方】</b>	<b>【求める人材】</b>
<p>(1) 豊かな教養と課題発見能力（☞KUGS1,5,6に対応） 人間性と社会性に富む豊かな教養を有し、常に知的好奇心を持ち続け、人間や社会、環境をめぐる諸課題を自ら発見することができる。</p> <p>(2) 社会的応用性を備えた専門性（☞KUGS1,2,5,6に対応） 各プログラムにおける専門的な学問内容と、文献読解にとどまらない固有の方法を、系統立てて理解・修得し説明できるとともに、それを活用して現代社会における多様な課題の具体的解決に忍耐強く意欲的に取り組んでいくことができる。</p> <p>(3) 適切かつ主体的な情報収集と的確な自己表現の能力（☞KUGS3に対応） 多様な情報、文献、資料、史料の中から必要なものを適切かつ主体的に収集、分析、統合し、自らの見解や価値観を形成するとともに、明晰な論理構成能力と高い文章表現力で自己を説得的かつ的確に表現することができる。</p> <p>(4) 多面的視野による他者理解と柔軟なコミュニケーション能力（☞KUGS4に対応） 多面的視野を持って、異なる文化や伝統も含んだ他者の多様な価値観や見解に対する高い関心と深い理解を有しており、日本語そして外国語を用いて異論を有する他者とも柔軟かつ適切に意思の疎通を図ることができる。</p>	<p>1.教育内容</p> <p>(1) 外国語コミュニケーション能力、異文化への関心と理解力を養う。外国語によって学際的・分野横断的に学ぶことで、継続的に外国語運用能力の向上を図る。（☞DP1,4に対応）</p> <p>(2) 人文学、社会科学の基本的教養を身につける。人文諸学の基本研究の内容と手法を幅広く身につける。（☞DP1,2に対応）</p> <p>(3) 言語を中心とする文化の固有性や多様性ととともに、人間の普遍性についての理解を深める。（☞DP4に対応）</p> <p>(4) 専門的知識を獲得するとともに、自己表現、他者理解、コミュニケーション等の能力を養う。（☞DP3,4に対応）</p> <p>(5) 自己の見解を明晰かつ論理的に表現していく能力を養う。自己の所説の説明に加えて、批評・批判・異論に耳を傾け、これに柔軟に対応できる能力を身につける。（☞DP1,2,3,4に対応）</p> <p>2.教育方法（以下、上記の教育内容の番号に対応）</p> <p>(1) 学士課程4年間を通じて、KUGSに対応したGS科目や導入科目を体系的に履修して、必ず初習言語をひとつ以上選択する。</p> <p>(2) 1年次より「人間社会学域GS科目」と「人文学基盤科目」を履修し、人間社会学域および人文学類での専門教育における基盤的教養を身につける。</p> <p>(3) 1年次でのGS言語科目の履修を踏まえて、2年次以降も、学域GS言語科目や、各プログラムで提供される外国語演習科目・講義科目を履修する。（☞DP4対応）</p> <p>(4) 専門科目は、講義系科目と演習系科目（プログラムによっては実験、実習、フィールド調査を含む少人数科目）に大別する。いずれのプログラムの講義・演習等でも、個人あるいはグループ単位での口頭発表、報告書（レポート）作成、討論、調査など学生の能動的・主体的な授業参加を求める。（☞DP3,4に対応）</p> <p>(5) 専門科目での発表や討論を通じて、論理的な表現能力を高め、4年次には全プログラムにおいて卒業論文演習を通じて卒業論文を作成する。卒業論文では、共通教育と専門教育を集成し、1年次から4年次まで修得してきた基盤的教養と専門教育における学修の成果を総合する。卒業論文演習では、学生自らが課題やテーマを設定し、データ・資料・史料等を収集、分析、読解できるように、指導する。卒業論文については口頭試問を実施する。（☞DP1,2,3,4に対応）</p>	<p>・人間の行動、思想、歴史、文化、言語、文学といった知的営みとその成果に対し深い関心を持ち、勤勉性と忍耐力に裏打ちされた学習意欲を有する人</p> <p>・文献読解から実験、フィールドワークまでを含む人文諸学固有の方法論のあり方を学び、その成果を多様な現代社会の諸課題の解決に活かしたいという意欲を有する人</p> <p>・広い視野を持ち、多様な価値観や伝統、異文化を積極的に理解しようとする態度を有する人</p> <p>・高等学校等で学習する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語について総合的な基礎学力を有する人</p> <p>・国語及び英語をはじめとする外国語における文章の読解能力、論理的思考能力、そして的確な表現力を有する人</p>
<b>【学修成果の評価】</b>	<b>【学修成果の評価】</b>	<b>【選抜の基本方針】</b>
<p>(1) 授業科目に対して成績評価の基準及び方法を明示し、それに基づいて、学修成果を評価する。</p> <p>(2) 学士課程での学修成果は、「卒業論文」を含めた修得単位数によって行う。</p> <p>(3) 卒業論文の審査は、論文審査及び口述試験により実施する。</p>	<p>(1) 授業科目に対して成績評価の基準及び方法を明示し、それに基づいて、学修成果を評価する。</p> <p>(2) 学士課程での学修成果は、「卒業論文」を含めた修得単位数によって行う。</p> <p>(3) 卒業論文の審査は、論文審査及び口述試験により実施する。</p>	<p>■一般選抜 大学入学共通テストを課して総合的な基礎知識を評価するとともに、人文学類の基本的科目である国語と英語の能力、そして総合問題による文章読解能力・論理的思考能力・表現力を評価します。</p> <p>■KUGS特別入試（総合型選抜） 大学入学共通テストにより基礎学力を評価するとともに、口述試験により高校時代の学習成果・大学での勉学への意欲・コミュニケーション力等を評価し、小論文課題により文章読解能力・論理的思考能力・表現力を評価します。</p> <p>■超然特別入試（A-lympiad選抜、超然文学選抜） 口述試験（プレゼンテーションを含む）により高校時代の学習成果・大学での勉学への意欲と関心・人文学で学習を進めるのに必要な資質等を評価し、小論文により論理的思考能力・表現力を評価します。</p> <p>■帰国生徒選抜 国語と外国語の試験及び口述試験により外国語能力・表現力・意欲等を重点的に評価します。</p> <p>■国際バカロレア入試 国際バカロレアのディプロマスコア及び口述試験により外国語能力・表現力・意欲等を重点的に評価します。</p> <p>■私費外国人留学生入試 日本留学試験、TOEFL、国語の試験及び口述試験により知識・表現力・意欲等を重点的に評価します。</p>
		<b>【入学までに身に付けて欲しい教科・科目等】</b>
		人文学類で学び、探究する事柄は、人間に関する様々な事象が対象となりますので、高等学校で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力を身につけておくことを望みます。